

プレスリリース

2003年6月25日

BASF、製紙技術で独フォイト社と戦略的パートナーシップ 製紙薬品とプロセス技術の緊密な連携と新技術を開発

BASF (本社ドイツ、ルートヴィヒスハーフェン) とフォイト・ペーパー・ホールディング社 (Voith Paper Holding GmbH & Co. KG、ハイデンハイム) は、今回長期的な協力関係の構築に合意しました。

近代的な製紙 仕上げ加工では、プラントとプロセス技術、製紙薬品が重要な役割を果たします。これら3つのフィールドのいずれかで技術革新が起きると、多くの場合、他の2つにおいても技術革新が誘発されます。高品質の紙や板紙を低コストで製造するためには、製紙工程全体を通じてプロセスと製紙薬品が最適な組み合わせになるよう、調整しなければなりません。このような市場ニーズを満たすために、製紙技術のサプライヤーと製紙薬品のサプライヤーは、両者に共通する顧客の利益に向けて開発の早期から緊密に協力する必要があります。

今回の合意は、両者の責任範囲が明示されており、両パートナーが持つさまざまな技術力や資源を最大限に活用するものとなっています。カーテン・コーティングといった新技術の開発に焦点はあてられていますが、同時に、新しい製紙機械およびその機械と組み合わせる製紙薬品の開発および市場投入において緊密な協力を行うことも定められています。

BASF の欧州紙・カーペット産業地域事業本部の Dr. ハンス・リヒャルド・シュミット、そしてフォイトの板紙グループの経営幹部、Dr. ハンスペーター・ソリンゲルは、「このような協力関係を持つ相手として、BASF とフォイトは理想的なパートナーです。両社とも、それぞれの分野で世界をリードする企業であり、製紙 仕上げ加工に関するあらゆるプロセスに対応した製品と技術を持っています。この2社が協力関係を結ぶことにより、製紙業界の革新的パートナーとして、製紙工場におけるプロセスの安全性を高め、技術革新を加速することができます」と語っています。

今回の合意の結果、仕上げ加工工程について、従来型コーティングの試験は、主にルートヴィヒスハーフェンにある BASF の製紙技術センターで行い、機械の最適化と新技術の試験はハイデンハイムにあるフォイトの施設で行うことになりました。

製紙業界に対する製品・サービスのマーケティングについては今回の合意に含まれておらず、今後も両社がそれぞれ独自に展開します。つまり、BASF やフォイト社と顧客との間で培われた事業が、今回のパートナーシップ合意の影響を受けることはありません。

今回の戦略的提携により、BASF とフォイトの両社は、製紙業界へのサプライヤー間の緊密な協力関係に向けさらに一歩前進したといえます。BASF は、2003年4月に、製紙業界向け顔料メーカーの世界的大手企業、スイスの Omya 社と長期パートナーシップ関係の構築に合意しています。フォイトと BASF の提携と Omya と BASF の提携は別個のものですが、今後、個別の開発案件や顧客プロジェクトで3社間の協力がいっそう推進されることとなります。

■ BASF の製紙業界向け製紙薬品

BASF は、製紙業界向け製紙薬品のトップメーカーであり、製紙・板紙製造、紙のコーティング加工で使用する各種製品を開発、製造、販売しています。当社は、ドイツのルートヴィヒスハーフェンに製紙用パイロット・プラントを持ち、研究開発効率が高く、世界的に適用可能な技術を持つという強みがあります。本事業は、BASF、高機能製品部門の機能性ポリマー事業部が取り扱っています。関連情報は、www.basf.de/paper をご覧ください。

■ BASF Group について

BASF (ビーエーエスエフ) は、原油と天然ガスの他、化学品、プラスチック、高機能製品、農薬、ファインケミカル等の高付加価値製品をお客様に提供する世界の化学業界のリーディング・カンパニーです。BASF の統合生産・経営システムは、ドイツ語の「フェアブント」として知られ、同社の特異な強みであり、コスト面での優位性と競争力をもたらしています。BASF は「持続可能な発展」の基本方針に則って企業活動を行っています。2002 年度は約 320 億ユーロ (約 340 億ドル) の売上高を計上し、世界で 8 万 9000 人の従業員を抱えています。BASF の株式はフランクフルト (BAS)、ロンドン (BFA)、ニューヨーク (BF)、パリ (BA)、チューリッヒ (BAS) の各株式市場において取引されています。同社のインターネットホームページアドレスは www.basf.com です。BASF ジャパン (株) のインターネットホームページのアドレスは www.basf-japan.co.jp です。

■ フォイト・ペーパー・ホールディングについて

フォイトは製紙プロセスの世界的サプライヤーであり、繊維段階から仕上げ加工、そして印刷に至るまで、あらゆる段階において高い技術力を誇ります。フォイトが開発するソリューションは、グラフィック用紙から厚紙、包装紙、ティッシュ・ペーパー、特殊紙など、あらゆるグレードの紙について、原料繊維から仕上げ加工済みの紙に至るまでのあらゆる製造プロセスをカバーします。

フォイト・ペーパー社やフォイト・ファブリクス社、そしてフォイトの戦略的パートナーが提供する製品・システム・サービスは、相互に連携し、製紙プロセスの最適化や紙の品質向上に貢献しています。

フォイトが高い技術力を持つことは、システム立ち上げに要する期間が短く、その結果、投資に対するリターンを早期に得られるということです。毎年 250 もの特許申請を行い、すでに 5,000 の特許を持つフォイト・ペーパー社は、世界トップクラスの技術力を持った技術陣を擁しています。

■ 本件についてのお問い合わせ先

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ 小池
TEL : 03-3238-2376

BASF ジャパン (株)
コーポレート・コミュニケーションズ
住所 : 〒102-8570 東京都千代田区紀尾井町 3-3
電話 : 03-3238-2376
Fax : 03-3238-2514
<http://www.basf-japan.co.jp>

+65 6432 3684 (Corporate Communications Asia Pacific)
+49 621 60 9 99 38 (Corporate Media Relations BASF Group)
E-Mail: presse.kontakt@basf-ag.de

BASF